



今年の暗唱は

「小を積んで大を為す」

昨年は、全校で「雨ニモマケズ」の暗唱に取り組みました。今年は、ぜひこれを全員で暗唱したいと思います。

二宮尊徳 小を積んで大を為す

翁 曰く、大事を為さんと欲せば、
 小さな事を、怠らず勤むべし、
 小積もりて大となればなり、
 凡そ小人の常、大なる事を欲して、
 小さな事を怠り、出来難き事を
 憂いて、出来易き事を勤めず、
 それ故、終に大なる事を為す事あたはず



4月の始業式で、「新しい学年になったことで、みなさんは夢や目標をもったと思います。メジャーリーガーのイチロー選手が、『夢や目標を達成するには1つしか方法がない』と言っています。さて、そのたった1つの方法とは何だと思いますか？」と質問しました。

子どもたちからは、よく考えた答えがたくさん返ってきましたが、正解は、『小さなことを積み重ねること』



です。何と200年以上前の二宮尊徳とイチロー選手が全く同じことを言っているのです。もしかすると、イチロー選手は、二宮尊徳のことを

勉強していたのかも知れませんね。

子どもたち一人一人が、小さな事にこつこつと努力して何かをやり遂げる。そして、そのことに喜びを感じ、出来た自分に自信がもてる。そんな風になって欲しいと思います。

また、一人一人の小さな成長がたくさん積もって、学校全体として大きな成果となって表れてくれることを期待し、応援したいと思います。

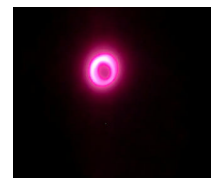
感動を共有することの大切さ

「世紀の天体ショー」といった言葉がよく使われます。今回の金環日食は、天気にも恵まれた本県においては、その言葉にふさわしいものとなりました。

本校では、登校時の事故や目を痛めたりすることへの配慮から、PTA会費で遮光板を全員分購入させていただき、全校児童そろって観測しました。

実施して改めて感じたことは、感動をみんなで共有することの大切さ、素晴らしさです。『みんなで歓声をあげ、笑顔で感想を述べ合う』・一緒に観測したことで感動はより高まり、仲間との絆も強まりました。

これからの学校行事も、このような視点から見直していきたいと思えます。保護者の皆様には、早朝からの交通指導など大変お世話になりました。



やばい・うざいは、ださい？

1年生が、生活科の学校探検で校長室に遊びに来てくれました。部屋にあるいろいろなものをスケッチしていたのですが、「やばい、もう長い針が7になるよ。教室に戻らなくちゃ。」「ほんとだ。やばい、やばい。」などと言いながら、慌てて校長室を出て行きました。『う～ん、こんなにかわいい1年生まだが、やばいを使うのか。これは相当やばいな。』と感じました。

修学旅行の夕食は、横浜中華街です。「やばい、このチャーハン超うまいよ。」という声が聞こえました。

このように、「やばい」などの「若者言葉」は、もうすっかり小学生にも浸透しています。大人が眉をひそめる言葉ですが、実は意外な語源があるようです。

「やばい」・・・江戸時代の牢屋を指す「厄場（やくば）」が語源ということなので、昔からあった言葉のようです。今では、上述のように「おいしくてやばい」（くせになる、やめられなくなる）などの意味で使われることも多くなっていますね。

「うざい」・・・八王子付近のお年寄りが「濡れた畑に入る時の感じ」として使っていたようで、やはり昔からある言葉です。

このような「年寄り言葉」を好んで使っているわけですから、今の若者は、**「ださい」**（これの語源には確かなものは無いようです）ということになりますね。

ついでに、「全然OK」という言い方もよく聞きます。全然の次には否定がくるべきだと普通思いますが、昭和10年頃までは、肯定、否定のどちらにも使っていたそうで、元の使い方に戻っただけと言えるようです。

唐突ですが、ここで若者言葉に関して少し笑える話を・・・、高校の国語のテストに、次の問題が出ました。

【問題】

人を見下した言い方になるよう、次の□にひらがなを入れなさい。

鼻で□□□

勿論「わ・ら・う」が正解ですが、3割ほどの学生が同じ誤答をしたそうです。それは、・・・「か・く・ね」です。（下を読む前に、意味をちよつと考えてください）

.....

お分かりでしょうか？ はやりの若者風のフラットな言い方で、「おまえ（あいつ）の鼻は、ちよつとでかくないか」

見下して、きちんと意味も通っていますね・・・？（落語家が書いた本にあったので、たぶん眉唾だと思いますが）

震災・気象急変時の学校の対応及びお願いについて

【震災時】

- 震度5強以上の場合は、授業を打ち切り、保護者等の迎えを待って引き渡し下校とします。
- 震度5弱以下の場合は、被害や余震の状況を見て判断します。（予定どおり授業を行い通常（学年）下校、または授業を打ち切り引き渡し下校）
- ※授業を打ち切る場合、児童だけで下校させることはありません。
- ※電話連絡網及びホームページでお知らせします。

【竜巻・雷などの気象急変時】

- 安全な気象状況になるまで学校で待機し、集団（全校・学年）で下校します。特別な事情がない場合は、車でのお迎えはお控えください。

水筒について

これから水分補給が重要な時期になります。お子さまに水筒を持たせてくださっても結構です。水筒に入れる中身については、活動量や体調により、健康保持のために適当なものをお選びください。

なお、糖分の摂り過ぎにはご注意ください。

